

ゼロ・カーボン・エネルギー・システムへの移行におけるエネルギー効率化の役割" (11月11日 アーモス・ホール)

本サイドイベントでは、エネルギー効率の向上が、温室効果ガス（GHG）排出削減の重要な柱の1つであるとし、エジプト石油鉱物資源省（MOPMR）、EU、JICA、世界銀行、欧州復興開発銀行（EBRD）、国際エネルギー機関（IEA）が参加し、世界のエネルギー効率改善に資する政策、ケーススタディ、プロジェクトについて議論した。

タレク・エル・モラ石油鉱物資源大臣が石油セクターにおけるエネルギー効率化戦略を紹介し、JICAによるエネルギー効率化活動への支援に謝辞を述べた。また、JICAの支援により Center of Excellence for Energy Efficiency and Product Optimization, Egypt（COE）が設立され、同センターではエジプトだけでなく中東やアフリカのエネルギー効率化活動を牽引する有能な人材の育成が行われることが紹介された。三戸森気候変動対策室副室長からは、世界のエネルギー効率化に関するJICAビジョンが説明され、MOPMRによる取組を称賛し、COE設立の経験は他国への技術移転や、同様のセンター設立を支援する際に役立つと述べた。



登壇者の集合写真



パネルディスカッションの様子



三戸森氏とモラ大臣との記念写真



エネルギー効率化におけるJICAの役割について説明する三戸森氏